



おいしい米づくり情報

2026/06/22

第8号 中干し・作溝 “今すぐ” 編

庄内総合支庁 農業技術普及課

Tel. 0235-64-2103

6月20日梅雨入りし、今後、曇天が続く予報です。

目標茎数(穂数の8~9割)を確保した圃場は、**直ちに中干し・作溝**を行いましょう。

未確保の圃場は**水交換と浅水管理**で分けつ促進!!

1 6月19日現在の生育状況

作柄診断圃の「はえぬき」は、平年と比べて草丈はやや長い、茎数は多い、葉数は多い、葉色はやや濃い、となっており、生育状況は6月10日調査と同様です(表1)。

また、「やまがた米づくりナビ」による予測では、5月15日までの移植が先週末には8葉となり、中干し開始時期になっています(表2)。登熟向上に向けてしっかりと**根の量(長さ、本数)**を確保しましょう。

表1 作柄診断圃の生育(6/19現在)

品種	場所	年次	移植	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	土壌中残存アンモニア態窒素 (mg/100g)
はえぬき	鶴岡市矢馳	本年	5月17日	33.9	489	8.9	41.7	4.0
		前年	5月18日	32.8	433	8.1	41.5	4.9
		平年	5月16日	32.6	466	8.1	38.4	5.5
		平年比・差	+1	104	105	0.8	3.3	-1.5
つや姫	鶴岡市上清水	本年	5月11日	37.9	679	8.7	41.2	1.3
		前年	5月13日	37.3	459	8.1	44.3	3.2
		平年	5月12日	35.2	453	8.1	41.1	4.0
		平年比・差	-1	108	150	0.6	0.1	-2.7
雪若丸	鶴岡市長沼	本年	5月8日	28.5	521	8.9	42.3	3.1
		前年	5月10日	32.6	481	8.4	48.4	2.3
		平年	5月12日	31.3	535	8.4	45.8	4.5
		平年比・差	-4	91	97	0.5	-3.5	-1.4

※前年・平年は6/10と6/20の調査データからの推定値 平年；2020~2024年の5か年平均

表2 「やまがた米づくりナビ 適期作業カレンダー」による生育の予測

移植時期	6月19日時点葉数(葉)			中干し開始時期(月/日)			予測出穂期(月/日)		
	はえぬき	つや姫	雪若丸	はえぬき	つや姫	雪若丸	はえぬき	つや姫	雪若丸
5月 5日	9.1	9.0	9.2	6/14	6/14	6/13	7/31	8/6	8/2
5月10日	8.8	8.7	9.0	6/16	6/16	6/15	8/1	8/8	8/3
5月15日	8.3	8.3	8.4	6/18	6/18	6/18	8/3	8/9	8/5
5月20日	7.7	7.6	7.8	6/21	6/22	6/22	8/6	8/12	8/8

モデルは庄内平坦(鶴岡市藤島)、移植時苗の葉数は2.5葉、中干し開始時期は8葉期頃

2 当面の技術対策:

◎ 目標の莖数(穂数の8~9割)を確保したら、遅れずに中干し・作溝を開始

(1) 中干し・作溝の効果

- ・中干しには以下の効果があります。より良い収穫の秋を迎えるか否かは、中干しがポイントです。
 - ①酸素の供給 → 有害物質の除去 → 根の活力向上 → 登熟向上(食味・品質・収量の向上)
 - ②土壌中窒素の発現を一時的に抑制 → 無効分げつを抑制 → ぐず米の減少(品質・収量向上)
 - ③土壌水分の低下 → 地耐力の向上 → 作業性の向上
- ・作溝は、中干しの効果を高める重要な技術で、中干し終了後の灌排水を容易にします。

(2) 中干し開始の目安

- ・目標とする穂数の8~9割の莖数を確保した時期が中干し開始時期です。
- ・品種や栽植密度により、目標莖数が異なるので、下表を参考に時期を判断します。

品 種	指標の穂数 (本/m ²)	指標穂数の8~9割		
		(本/m ²)	70株植/坪 (本/株)	60株植/坪 (本/株)
つや姫	440	350~400	17~19	19~22
雪若丸	580	460~520	22~25	25~29
はえぬき	540	430~490	20~23	24~27

(3) 中干しの程度の目安

- ・地力(土質)や生育量に合わせて、中干しの程度・期間を調節します。

地 力：低~並 生育量：並~良	7~10 日間を目安に小ヒビが入る程度 (写真左)
地 力：高 生育量：過多	有効莖確保前でも早めに実施。11~15 日 間を目安にやや強めの中干し(写真右)

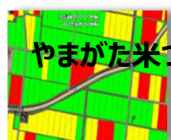


(4) 中干し遅れのデメリット

- 中干しを遅らせると、以下のリスクがあり、登熟期間の天候不順によりさらに助長されます。
 - ①穂肥時期に葉色が濃い → 1穂粒数過多 → 玄米千粒重低下、玄米品質低下
 - ②無効分げつ多発 → 稲体内蓄積デンプン減少 → 早い凋落、玄米千粒重低下、ぐず米増加

◎ 病虫害防除対策 **【取り置き苗を直ちに処分】**

- ・庄内地域では過去になく早く、取り置き苗から葉いもちの発生が確認されました。
- ・梅雨入りし、しかも最低気温が高いことから、いもち病が感染しやすい条件が揃っています。
- ・取り置き苗を今すぐ処分しましょう。

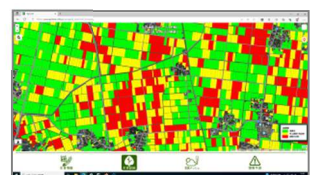


『穂肥診断マップ』 6月30日更新予定!

「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」同時更新予定

『適期作業カレンダー』で中干し開始を確認!

※詳しくは、農業技術普及課にお問い合わせください。



やまがた米づくりナビの
「穂肥診断マップ」

熱中症予防と農作業事故防止のため、定期的に水分と休憩を取りましょう